



1月スクールランチ



令和5年1月
野々市市中学校給食センター

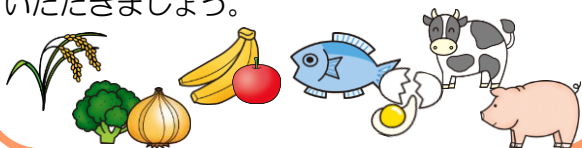
あけましておめでとうございます。冬休みが終わり、新しい年が始まりました。今の学年で過ごすのも残りわずかですね。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」というように、この3か月間はいつも以上に時間が過ぎるのを早く感じます。食事をしっかりとって、健康第一に過ごしましょう。

感謝して食べよう！

私たちはたくさんの命をいただいて、自分の命にかえています。そして毎日の食事は、食べ物を作ってくれる生産者の方や料理を作ってくれる人のおかげでできあがっています。感謝の気持ちを表すために、以下の4つのことを意識してみましょう。

食べ物を大切に残さず食べる

米や肉、魚、野菜など、動植物の命をいただいています。その命を粗末にしないよう、大切にいただきます。



食事のあいさつをきちんとする

食事のあいさつ「いただきます」「ごちそうさま」には、食べ物の命や料理に関わる人々への感謝の気持ちが込められています。

食事の時には、忘れずにきちんとあいさつできるといいですね。



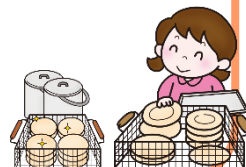
食事のマナーを守る

食事のマナーを守って食べることは、食べ物や料理を作ってくれた人の思いを大切にすることにもつながります。



後片付けをきちんとする

食器に食べ残しがないようにしたり、後片付けをきちんとしたりすることで、食事を準備してくれた人たちへの感謝の気持ちが伝わります。



～ 全国学校給食週間 ～

1月24日～30日は全国学校給食週間です。

学校給食は、明治22年山形県の小学校で始まったとされています。

戦争によって中止されながらも、さまざまな歴史をたどり、現在まで続いています。

「全国学校給食週間」は、戦後にアメリカの支援団体からの援助により、学校給食が再開されたことを記念して定められたもので、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めることを目的としています。

期間中は、石川県各地の特産物を使用した献立や野々市で採れたヤーコンなど地場産物を使った献立を実施します。

- 24日(火) 野々市市の献立
- 25日(水) 能登地方の献立
- 26日(木) 白山市の献立
- 27日(金) 野々市市の献立
- 30日(月) 金沢市の献立



明治22年



山形県の私立忠愛小学校で、お弁当を持ってこられない子どもたちのために食事を提供したのが、日本の学校給食の始まりとされる。

現在



完全給食(主食・おかず・牛乳)という形をとり、地域の特色を生かした献立や地場産物を使った献立を取り入れている。